

糸魚川市地域公共交通網形成計画の 策定プロセスとその後について





昨年12月22日に発生いたしました糸魚川市駅北大火からの 復旧・復興に関し、ひとかたならぬご支援を賜り、厚く御礼 申し上げます。

おかげさまをもちまして、発生から8ケ月後の8月22日に「糸魚川市駅北復興まちづくり計画」を策定、公表することができました。

これもひとえに皆様のご指導とご鞭撻の賜物であり重ねてお礼を申し上げます。

復興まちづくりは、ようやくその緒についたばかりであり、 計画の実現に向けては多くの課題や困難もあるかと思います が、被災者、市民、関係者が心を一つにして乗り越えてまい る所存であります。引き続き格別のご指導とご支援を賜りま すようお願い申し上げます。



糸魚川市駅北大火の概要①

火災の状況

出 火 平成28年12月22日(木) 10時20分頃

鎮 火 平成28年12月23日(金) 16時30分

出火場所 糸魚川市大町1丁目2番7号 ラーメン店

出火原因 大型こんろの消し忘れ

焼損棟数 147棟(全焼 120棟 半焼 5棟 部分焼 22棟)

焼失面積 約40,000㎡(被災エリア)

負傷者 17人(一般2人 消防団員15人)

※中等症 1人 軽症 16人 死者O人

目の痛みなど

鎮火まで約30時間

- 被災者の状況145世帯 260人 56事業所
- 当日の気象状況

気温 18.4℃ 湿度 54.7%(11:00) 最大瞬間風速 27.2m/s 南南東(11:40) 冬場としては珍しい フェーン現象による 南からの強風

神

火災としては初めて 被災者生活再建支援法 に適用(風害として)

参 糸魚川市

糸魚川市駅北大火の概要②



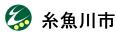








糸魚川市の概要①



地勢

- ・新潟県の最西端。南は長野県、西は富山県に接する。
- ・豊かな自然中部山岳国立公園、妙高戸隠連山国立公園親不知・子不知県立自然公園久比岐・白馬山麓県立自然公園





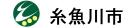




- ・糸魚川ユネスコ世界ジオパーク国内8地域のひとつ国石ヒスイの産地、フォッサマグナのまち
- 市域面積は、東京23区(619Km)の1.2倍 市域の約87%は森林
- •高齢化率は、37.8%



位 置	東経137°52′ 北緯37°02′
面積	746.24平方キロメートル
人口	43,961人
世帯数	17,459世帯



糸魚川市の概要②

遠くて近い? 首都、近隣の県庁所在地近くて遠い? 我らが新潟県庁所在地

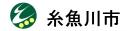


🥝 糸魚川市

糸魚川市の地域公共交通

- ・北陸新幹線(糸魚川駅)
- ·在来線(JR西日本 大糸線 6駅)
- ・在来線(えちごトキめき鉄道 日本海ひすいライン 8駅)
- ・高速バス(糸魚川~新潟線 1路線)
- ・路線バス(頸城自動車株式会社 1路線、当市~上越市間)
- ・路線バス(糸魚川バス株式会社 16路線 36系統、市内のみ)
- コミュニティバス(乗車定員11人以上、5路線)
- ・乗合タクシー (乗車定員10人以下、8路線)
- ・スクールバス
- ・旧町エリアでの無料送迎(ふれあい送迎、医療受診者送迎)
- ・福祉有償運送(運行エリアは市内全域)
- ・タクシー

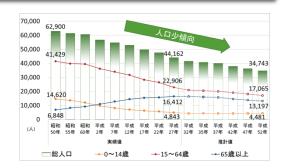




糸魚川市を取り巻く課題

人口減少、少子高齢化

- 地域公共交通の利用が見込まれる絶対数の減
- ・運転免許を保有し、元気で活発に移動する高齢者の増
 - → 老々送迎、孫の送迎 ⇒ 地域公共交通利用者の減



- ・14歳以下人口が昭和50年から約1/3に減少、若い世代の市街地への転居
 - → 中山間地の子どもの数は、更に急激な減少 ⇒ 地域公共交通利用者の減
- 自治活動、集落機能の維持が困難

広大な市域に分散した集落、そこに暮らす市民

- ・海岸部の狭い平野部に人口が集中
- ・南に向かって伸びる谷筋に集落と人口が分布(低密度)
 - →中山間地等に暮らす市民が都市機能を享受する方法⇒地域公共交通、移動販売など

厳しい財政状況

- ・税収が減少する中、地域公共交通確保維持に係る決算額は増加傾向
- ・生活交通は、乗車密度が低く、国庫活用なし。県単補助のみ。



糸魚川市の地域公共交通の現状と課題①

競合/特異な地形によるもの

・起伏に富み、限られた平地や谷あいに主要道路や鉄道が走る 鉄道vs路線バス、路線バス同士、路線バスvsコミュニティバス・・・

▶ 競合/市が運行する無料送迎の存在によるもの

- ・旧青海町エリア・・・医療受診者送迎(エリア内と富山県朝日町の医療機関へ)
- ・旧能生町エリア・・・ふれあい送迎 (路線バス運休日に市の温泉施設、児童館等へ)
- ・旧糸魚川市エリア・・・スクールバス(路線バスと類似経路、学校統合条件)

詳細な分析データなし、対処療法的な見直しと運行

- ・事業者・・・所有する乗降量等データの共有が困難、分析不十分
- ・市・・・・・・主体的かつ継続的な調査はほぼ実施なし

交通施策の検討過程に利用者が遠い存在

・積極的な対話の欠如(誰が、どんな立場で、何を伺い、どう生かすか。)

糸魚川市の地域公共交通の現状と課題②

バラバラだった交通施策

<民間>元々は、鉄道事業者1社、バス事業者1社で連携ができていた(と聞く)が、 乗降量減少等負のスパイラル・民営化・分社化等に従い、接続等連携が希薄

〈市・生活交通担当課〉

- ・全庁的な交通政策の企画調整部署がない
- ・公共交通は基本的には交通事業者が経営し主導権を握るもの、 市は、市民生活を守るため、その運行内容に対し要望する立場
- ・H17.3新市以降、公共交通業務が組織機構改革で5課異動企画課 → 商工観光課 → 都市整備課 → 定住促進課 → 建設課

<市・各課>・施策別ターゲットの囲い込み、聖域の壁(学校統合条件、合併前からの交通)

様々な課題が山積・・・

このまま何もしなければ共倒れ・・・

これらの課題を解決し、地域公共交通を次世代に残すためには





まず、多額の財政負担をしている路線バスの収支改善に取り組む

しかし・・・ 路線バスだけ、当課だけ、公共交通だけで解決できる話ではない 生活交通だけでなく、北陸新幹線の活用、観光二次交通も・・・ 地域づくりとどう連携し、中山間地等と市街地をどうつなぐべきか 目指すべき姿、背骨になる方針がない 連携・協働する体制がない、庁内・庁外の調整役がいない

というのも・・・



市の地域公共交通確保維持改善に関する中長期的な計画がない



えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインに新駅構想も・・・



市が中心となり、まちづくりと連携し、面的な公共交通ネットワークを再構築

⇒ 地域公共交通網形成計画 の策定と推進が、今の当市に必要



糸魚川市地域公共交通網形成計画策定のプロセス(1)

平成26年度(都市整備課)

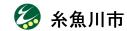
- •7/14 「改正都市再生特別措置法 及び 改正地域公共交通の活性化及び再生に関する 法律に係る説明会」及び「まちづくり&地域公共交通セミナー」
- 新駅整備と絡め、地域公共交通網形成計画策定に関心が芽生える

平成27年度(定住促進課)

- ・10月 「糸魚川市まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の中で、地域公共交通網形成計画 の策定を新規事業に明記
- •10月 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業補助金を要望
- -2月 地域公共交通会議で法定協議会への移行を協議
- •3月 法定協議会移行に伴い追加する委員候補への参画要請

頼みの綱は、

- 〇地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画作成のための手引き
- ○国土交通大学校研修をはじめ、運輸局・運輸支局のご指導、研修仲間のアドバイス



糸魚川市地域公共交通網形成計画策定のプロセス②

- 平成28年度(建設課)
 - •4/13 第5回糸魚川市地域公共交通会議
 - 会議の発展的解散を決議

同日 第1回糸魚川市地域公共交通協議会

協議会の立ち上げ

- 二法協議会として発足
- •規約等制定、役員選出、事業計画•予算
- ・平成28年度地域公共交通確保維持改善事業補助金(地域公共交通 交通調査事業(計画策定事業))交付申請の決議 ほか 国庫補

国庫補助申請

•10/3 第2回糸魚川市地域公共交通協議会

現状・問題点、課題整理①

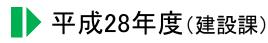
- ・地域公共交通の現状と課題の洗い出し
- ・アンケート調査の実施

(利用しない人も含め広く市民、利用者、新駅予定地周辺住民の最新の声を聞く)

・えちごトキめき鉄道新駅設置に関する基本方針の締結 ほか

🥝 糸魚川市

糸魚川市地域公共交通網形成計画策定のプロセス③



-10月 アンケート実施

現状・問題点・市民等意向データ収集

日常の移動やその手段、公共交通の満足度、将来の交通ニーズ等を問う

- 〇市民アンケート(15歳以上の市民、無作為抽出、郵送、1,000人)
- 〇利用者アンケート(主要駅・主要バス停、平日1日・日曜日1日・計2日実施)
- ○新駅予定地周辺住民アンケート

(新駅予定地2箇所在住の15歳以上の市民、無作為抽出、郵送、各1,000人)

-11/29 第3回糸魚川市地域公共交通協議会

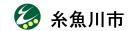
- アンケート調査結果(速報)
- •地域公共交通網形成計画<u>素案</u>

現状・問題点、課題整理②

粗々の網形成計画の記載事項

- ・12/22 糸魚川市駅北大火の発生
 - ・同日午後予定のコンサルタント打合せ → 中止

想定外のアクシデント →事務局マンパワー不足



糸魚川市地域公共交通網形成計画策定のプロセス4

平成28年度(建設課)

- ·12/28~1/10 <u>第4回糸魚川市地域公共交通協議会(書面会議)</u>
 - ・平成28年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価
- -1/19~20 第5回糸魚川市地域公共交通協議会(書面会議)
 - ・駅北大火被災者の移動支援策「がんばれ糸魚川おでかけパス」の新設 注:地域公共交通網形成計画に関する協議なし

<u>分科会の開催</u>

- 規約に掲げる協議事項について、専門的に協議、調整を行う。主に次回協議会議事内容に係る事務局案の審議など。
- ・名より実をとるため、分科会の正式名称なし。 現在、分科会(道路旅客運送)、分科会(鉄道旅客運送)が存在する。 分科会(鉄道旅客運送)は鉄道事業者2社を招集して協議する内容 がないため、別々に開催している。
- ・ 平成28年度は、全7回開催

🥝 糸魚川市

糸魚川市地域公共交通網形成計画策定のプロセス⑤

平成28年度(建設課)

- •2/7 第6回糸魚川市地域公共交通協議会
 - アンケート結果(確定)
 - ·地域公共交通網形成計画<u>修正素案</u>
 - ・パブリックコメントの実施 ほか

網形成計画素案の記載事項に肉付け

- ・アンケート結果から市民意向や課題等
- ・実施方針、目標、施策、個別事業ほか

•3月 市議会建設産業常任委員会 所管事項調査

- ・地域公共交通網形成計画について
- ・参考・・・9月、12月の定例会では進捗等報告

·3月 <u>住民との意見交換会</u>

- ・地域公共交通網形成計画修正素案について
- 自治会等役員を中心に3地域6会場で実施 (能生地域1、糸魚川地域1、青海地域4)
- ・総論に異議なし

翌年度の各論に関心



参 糸魚川市

糸魚川市地域公共交通網形成計画策定のプロセス⑥

- 平成28年度(建設課)
 - -3/28 第7回糸魚川市地域公共交通協議会
 - ·地域公共交通網形成計画(案)決定
 - •平成29年度事業計画(素案) ほか

【計画内容そのもの以外のこだわり】

- ○伝えたいことを冒頭に
 - 計画本編を前に
 - ・資料編は後に
- 〇伝えたいことは平易に
 - 計画本編はですます調
 - 資料編はである調

網形成計画修正素案の微調整 (パブコメ、意見)交換会、市議会意見)



- •3/29 糸魚川市地域公共交通協議会が市に地域公共交通網形成計画(案)送付
- ·3/31 糸魚川市地域公共交通網形成計画策定
- 平成29年度(建設課)
 - ・4/13 糸魚川市地域公共交通網形成計画を公表

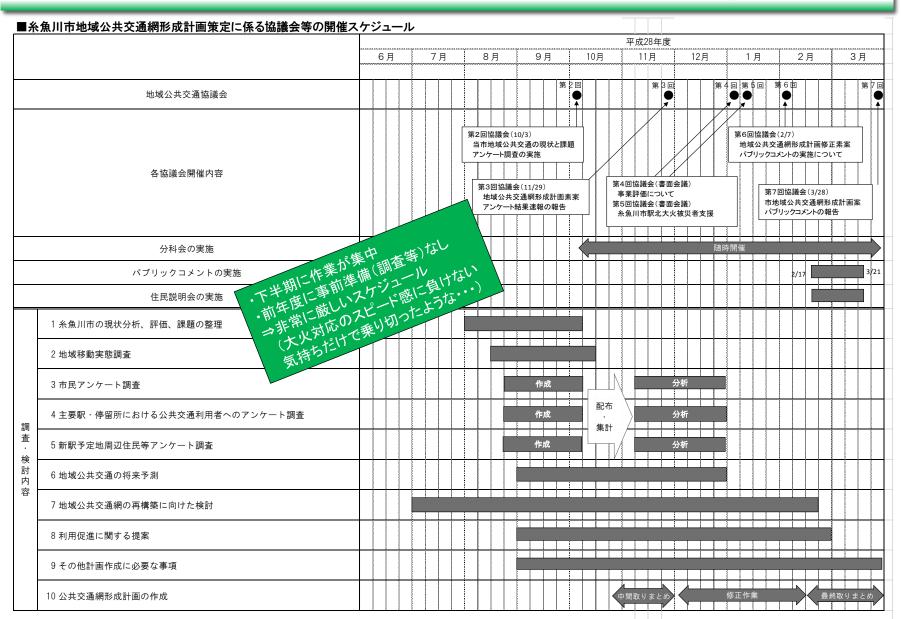
糸魚川市地域公共交通網形成計画

平成 29 年 3 月

🥝 糸魚川市



糸魚川市地域公共交通網形成計画策定のプロセス⑦



網形成計画策定のその後①



地域公共交通に特化した全市的

な意見交換会は

平成29年度(建設課)

主要事業・・・<u>地域公共交通再編実施計画の策定</u> (作業中)

【注】活性化再生法第27条の3に基づくものではない

〇計画(案)作成に係る調査等業務委託

- ・地区別公共交通カルテの作成、利用実態調査
- ・見直し基準設定提案、再編実施計画(案)の立案など

<u>〇地域公共交通の再編に関する地区意見交換会の実施</u>

・地区単位は、21地区公民館単位を想定 (その下には区、支館等・・・要請があればできるかぎり実施)

・各地区にて3回程度を想定

プレ/自治会役員等向け:事前説明と開催方法等協議

1回目/現状と市の方針説明、意見、質疑、気付き

2回目/1回目の振り返り、地区提案、意見交換、方向性の合意形成

3回目/再編案の説明、意見交換、合意形成



網形成計画策定のその後②・・・地区意見交換会①

糸魚川市地域公共交通網の 再編に向けて

【地区意見交換会 説明資料】

意見や知恵を出し合うために 知っておいていただきたい 現状と課題、市の考え方など

平成29年7月 糸魚川市 産業部 建設課

計画が目指す姿

市民、交通事業者、市が協働し、 地域の実情に即した持続可能な地域公共交通





えちごト中の密節道 今井

歌外波

市内の公共交通・・・それぞれの良さを生かした適切な役割分担を さんの地区で

本当に 必要 とされ、 みんなで 乗り合い、



維持し 続き けられる



公共交通 とは



とんなもの でしょうか。







〈観<u>夕の通学通勤</u> と <u>日中の通院や買い物</u> では、利用人数や移動特性が異なることに**着**目〉

職員2名体制で各地区に訪問

車座になって、様々な世代の市民と意見交換会を実施中 (本日現在、41箇所、790人の市民が参加)



網形成計画策定のその後③・・・地区意見交換会②





糸魚川市

網形成計画策定を策定して良かったこと

- ▶ 目指す姿、方針、目標、実施事業等を明らかにできた。
 - ・地域公共交通の確保維持改善に努める根拠と方向性が明確になった。
 - ・それらを市民、交通事業者、関係者等と共有できるものができた。
- 持続可能な地域公共交通の実現に必要な企画調整役を明らかにできた。
 - ・全庁的、全市的に、話し合って、乗り合って、少ない対象者を縦割せず、 効率的に、風通しのよい公共交通施策にようやく着手したところ。
 - ・見える成果、感じられる成果を出す責任がある(重い。)
- 担当者の遺言ができた。
 - ・事務引継では伝えきれない様々な課題や取組み、その道筋を 次の担当や関連する職員に継承できる。
- しかし、現状分析や内容はまだ不十分。
 - ・段階を踏んで、行間を埋める作業が必要。

糸魚川市の公共交通施策は、ようやく生まれ変わろうとしてます。 先進自治体の皆さまからご指導・ご鞭撻をいただければ幸いです。 ご清聴ありがとうございました。

